

秋の褒章・叙勲

◆湊正美さんに黄綬褒章



湊 正美さん
(山田・69歳)
業務精励 (理容師)

理容師の湊正美さんが、長年一つの仕事に打ち込んだ人に贈られる黄綬褒章を受章しました。「今回の受章は、業界、地域の皆さんのご協力あつてのことだと思えます。感謝したいです」と感想を話します。

湊さんは昭和44年から理容師として活躍。平成24年には全国理容生活衛生同業組合連合会常務理事広報委員長に就任し、規制改革ワーキンググループに配

属されました。そこで行つたのが「理美容のあり方」の改革でした。「これにより、利用者として理美容業者の利便性の向上が図られる」と力を込めます。今後の抱負については「現在、仮設店舗の沿岸地域の理容室が、全て本設になるまで支援していくことです」と話してくれました。

◆沼崎詔安さんに旭日双光章

元山田町議会議員の沼崎詔安さん(船越・86)が旭日双光章を受章しました。沼崎さんは昭和46年4月、町議会議員選挙で初当選。この間、町議会教育民生常任委員会委員、町議会産業建設常任委員会委員などを歴任し、8期32年の長きにわたり地方自治の発展に尽力されました。

財政公表

◆問い合わせ 町財政課財政チーム
(☎82-3111内線421、422)へどうぞ。

健全化判断比率と資金不足比率を算定

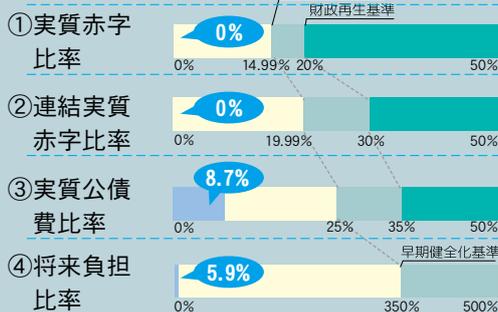
すべての指標で基準をクリア

町では、平成28年度の健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算定しました。これらは、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、前年度の決算に基づき算定し、公表しなければならないとされてい

るものです。

算定の結果は、すべての指標で国が定める基準をクリアしていますが、今後も適正な財政運営に努めます。

◆健全化判断比率



【用語解説】

▶実質赤字比率…一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

▶連結実質赤字比率…すべての会計の赤字や黒字を合算し、山田町全体としての財政運営の深刻度を示すものです。

▶実質公債費比率…借入金の返済額やこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

▶将来負担比率…一般会計の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担の残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

・早期健全化基準…町の財政状況が要注意ゾーンに達する基準値。①～④のいずれかがこの基準を超えると、財政健全化のため対策を取らなければなりません。

・財政再生基準…町の財政状況が危険ゾーンに達する基準値。①～③のうち1項目でもこの基準を超えると町は財政再生団体(民間でいう倒産)となり、国の管理下で財政再建対策が取られることとなります。

▶資金不足比率…公営企業の資金不足を、公営企業の料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

・経営健全化基準…公営企業の経営状況が要注意ゾーンに達する基準値。この値を超えると健全化のため対策を取らなければなりません。



◆資金不足比率

本町の資金不足比率は全ての公営企業会計(水道事業、漁業集落排水処理事業、公共下水道事業)で0%となり、経営健全化基準の20.0%をクリアしました。